



四季報

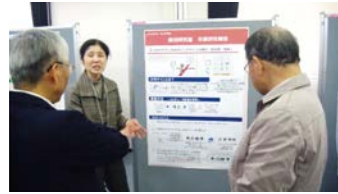
平成28年
10月1日発行
第8号

広報編集室 TEL : 029-879-7351 FAX : 029-879-7352 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟 A408)

わかりやすい

方向サインデザインの見直し

今回は、みんラボ代表・筑波大学教授の原田悦子先生の研究室の研究をご紹介します。これは、原田先生が2015年度卒業生の橋本英奈さんと一緒に行った研究で、今年3月に「みんラボ総会」にてポスター発表されたものです。



街中には、様々な情報を提供する標識で溢れています。その中でも、「どこに何があるのか」を示すための方向サインの重要性がますます高まっています。方向サインは、「遠くからでも」「ぼっと見て」「わかりやすいよう、文字を使わず図記号のみで構成されているものも多くなっています。」

しかし実際に使われている方向サインは、そんなに「わかりやすい」ものでしょうか？次の例(図1)をご覧ください。

これは「新宿エルタワー」にある方向サインです。図記号単体は見

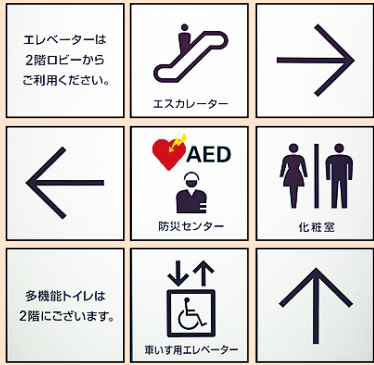
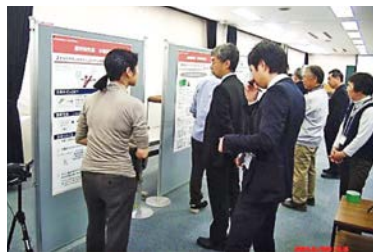


図1. 新宿エルタワーの案内板。直進した先に化粧室があるのか、エレベーターで昇った先に化粧室があるのか、右へ行くべきなのか、それとも左へ行くべきなのか？化粧室へ行くためのあらゆる解釈を、この案内板は可能にしてしまっている。

やすいにもかかわらず、それが矢印と組み合わせられたことによって、「どこに何があるのか」がわかりにくくなってしまっています。そこで本研究ではみんラボ会員さん25名、筑波大学生25名に調査協力いただき、方向サインデザインのわかりやすさについて検討を行いました。調査は、施設を表わす「図記号」と、方向を表わす「矢印」とが組み合わされてコンピュータ画面上に提示され、回答者はそれを見て問題に答える、という流れでした。調査の結果、以下のことが明らかにになりました。

(一)年齢によって、方向サインのわかりやすさは変わりました。すなわち、若年群にとってわかりにくい方向サイン板は、同じように高齢群にとってもわかりにくく、高齢群にとってもわかりやすい方向サイン板は、同じように若年群にとってもわかりやすかったです。これは、みんラボのコンセプトでもある「ユニバーサルデザイン」の考えに合致しています。

(二)サインが2つ以上提示される場合、図記号と矢印をどのように配置したらわかりやすくなるのかについて検討しました。インタビューでは「図記号が矢印の内側にある」ほ



うがわかりやすいと言っていた人が多かったにもかかわらず調査では、図記号が矢印の外側にあるほうが回答時間が早い場合があることが示されました。

(三)たとえば「お手洗いの図記号を用いたとき、図記号と矢印のまわりをつくっている境界線」と、「お手洗いのアイコン内にある男女を分ける線」とを混同してしまい、矢印とアイコンのまわりがわかりづらくなってしまうことが示されました。こうした結果からは、わかりやすい方向サインを作るためには、図記号の種類や、方向サイン全体のデザインに留意しなければならぬことが示されました。

◆いかがでしょうか？みんラボでは常にいろいろな研究が行われています。また年度末にはそうした研究成果を会員の皆様へお知らせすべく、先生方や院生、研究員によるポスター発表が行われます。毎年、とても楽しく盛り上がりがあります。まだ総会へいらしたことのない方も、ぜひ一度、足を運ぶく

ださい。(宮代)

エスカレーターはどちらの方向にありますか

問題文

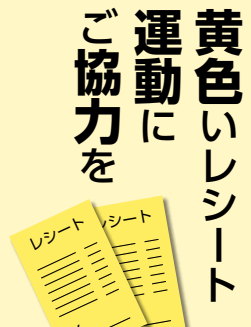


アイコンの方向を手元のキーで上下左右の4方向から回答

いつもオンラインつくばの黄色いレシート運動に力強いご協力をいただきましてありがとうございます。

さて今回は7月11日(月)がみんラボの宣伝日で、萩野、田内、篠原3名が参加いたしました。何名かの会員の皆様に応援いただき、又、子どもさんより「おじいさん頑張ってる」と声をかけられ元気千倍になりました。会員の皆様で宣伝活動と一緒にご協力を頂ける方がいらっしゃいましたら、みんラボ事務局へご連絡頂ければ幸いです。今後ともご協力をよろしくお願いたします。

(篠原、田内、萩野)



黄色いレシート運動にご協力を

第41回みんなラボカフェ



「作詞・作曲体験会 ～みんなで、みんなラボの歌を作ろう！～」

去る7月15日つくば「ノバホール」の小ホールにて第41回みんなラボカフェが行われました。今回は、今までのカフェとはちょっと趣が変わった芸術味溢れた趣向、「みんなラボの歌をつくりたい!」でした。長い間念願だったみんなラボの歌を作るための企画です。ディスカッションを交えながら、その場で作り上げて行くという手法で、講師の先生は作詞担当が藤原智子さん、作曲担当が眞間麻美さんという若い女性の先生方。次回のみんなラボカフェ講師で振付を担当予定の佐藤文音さんもお参加くださいました。参加している方も、講義している方も、何が出来るかわからないといった雰囲気の中で、一期一会の即興曲づくりといったところでしょうか。



メンバー自己紹介の後、まず3グループに分かれ、それぞれが意見を出し合い、みんなラボの歌に含めたいことを紙に書いてみました。出てきた意見をまとめてグループごとに発表して、討論し、ことばの感性を大事にしながら、とりあえずフレーズをまとめてみます。即興の歌のリズムの流れを意識し、詩に纏め上げていきながら、大枠が出来上がったところで、皆でキーボードのリードに合わせて歌ってみる、それぞれ勝手に踊ってみる。という形で出来上がったのがこの詩(写真左)です。



音を出して表現できないのが残念ですが曲調はお祭り気分、ノリノリの「音頭」です。詩にはまだまだ粗さも、言い足りないところも多くありつつ、曲調と詩の構成を大事にしながら、さらに細部をまとめて行く必要があります。今後、総合的に考慮して、まとめあげていきたいと思えます。会員の中から投稿された詩もありますし、これと合わせて第2、第3の「みんなラボの歌」作りも含め、また皆様きちんとして整理した形で、ご紹介をしたいと思います。(根岸)



地域のコミュニティ活動 インプロゲーム



区会活動は、地域のコミュニティ活動の一環です。安心・安全な街づくりと言いますが、コミュニティ活動が確立されていないと安心・安全な街とは言えませんね。この6月、千現一丁目では、地域コミュニティ活動の一環として、インプロゲームを体験しました。これは筑波大学人間系・茂呂雄二教授の協力を得て、「茂呂研の学生」シニアグループの「ふれあいサロン・千現カフェ」千現一丁目子ども会が一体となった試みでした。既に常陽リビングやACCSTVで放送されていますのでご存知かもしれませんが、このゲームの目的は子供たちのコミュニケーション力を養うことにあります。千現カフェのメンバーが作った「すいとん&おにぎり」を竹園交流センター前広場で食べ、みんなラボ会員様からいただいた「刺し身コンニャク」に舌鼓を打ち、お腹一杯になったところでゲー



ムの開始です。会場ではみんなラボでおなじみの茂呂教授の挨拶に始まり、大学院生の広瀬さんにゲームの説明を受けました。最初のうちは私たち大人も子供も学生もぎこちなかったのですが、ファシリテータのヨッシーこと西田さんによって子供たちも次第にゲームに溶け込んでいきました。ゲームの中では「6月」という課題から「アジサイ」を表現したグループがありグループの想像力に驚きと感動を味わいました。初めて会った人たちがグループを組み課題をこなしていくインプロゲーム。これこそは私たちのいまこのコミュニティ活動に必要なものと改めて勉強になりました。子供たちが地域のシニアグループと筑波大学の学生との交流に、協力と助け合うことを学び、楽しい1日を過ごすことが出来ました。(今井)

※インプロとは…「インプロヴィゼーション(即興)」の略語です。仲間との協力で台本や打ち合わせのないお芝居をその場で作り上げていくというパフォーマンスです。

～みんなラボの方々と
土曜会議での活動と
おとして～

高齢者向け ゲームシステムの開発



2016年3月に卒業した林です。私は大学4年生の時に筑波大学エンタテインメントコンピューティング研究室に所属してから大学院を卒業するまで、3年間高齢者向けゲームの開発に関わりました。初めはインターネットの情報や論文、展示会での意見などの間接的で少ない情報の中で開発を進めていました。「高齢者の方にとって使いやすく、本当に楽しんでもらえる、その上、認知症予防等に効果があるゲーム」とは、どのような内容なのか、試行錯誤を繰り返していました。

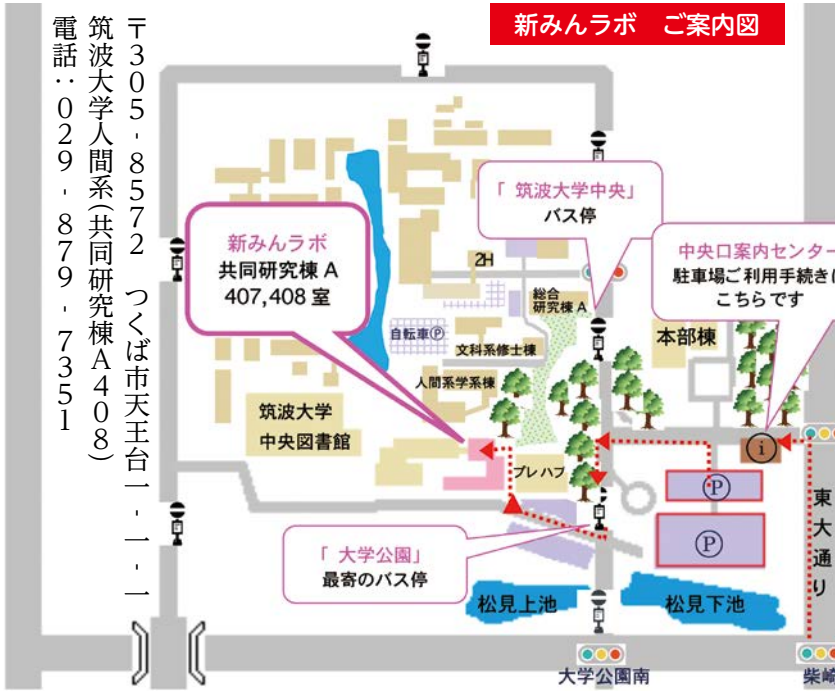
そんな中、みんなラボのことを友人から教えてもらい、土曜会議にて開発中のゲームを実際に高齢者の方々に体験してもらう機会を頂きました。実体験をしながら様々な意見をもらい、議論を重ね、一緒に開発を進めることができました。ゲームの画面からキャラクター、難易度まで、他では得ることのできない貴重な意見を多くいただき、取り入れることで、より良いゲーム内容に完成させることができました。そしてこのたび、この開発したゲームが実際に商品化されました。ゲーム開発に関わり、商品化まで行けたこと、みんなラボ土曜会議に参加できたことは、とても良い経験になりました。ありがとうございました。(林)

事務局だより

「みんラボ」の場所が変わりました！

早いもので、この10月で「みんラボ」設立からちょうど5年です。それに伴い、この9月下旬、みんラボのオフィスを筑波大学構内「共同研究棟A」へ移転いたしました。つくば駅から出ている「筑波大学循環バス」に乗り、「**大学公園**」にて下車した後、徒歩1分です。

お車でいらっしゃる場合には、**ゲート付き駐車場(左図赤枠内)**をご利用いただけます。ますますパワーアップしたみんラボを、今後とも宜しくお願いたします！



〒305・8572 つくば市天王台1-1-1
筑波大学人間系(共同研究棟A408)
電話…029・879・7351

四季報への「ご意見」、「ご感想」をお寄せ下さい

いつも四季報をお読みいただきありがとうございます。皆様は「四季報」に対しての「ご意見」、「ご感想」をお聞かせ頂きたく前回より考えております。

そこでみんラボ広報の会では、まずはご意見を調査する方法を話し合っています。

調査方法については、アンケート調査の場合、配布と回収の方法が問題になります。

(1) 郵送は費用がかかるが全会員に届く。
(2) みんラボカフェでの配布は費用、手間も少ないが一部の会員が対象になる。

(3) インタビュー調査の場合は、一部の会員対象になる対面による深い聞き取り調査ができる。

調査内容については、四季報に対し、関心を持ってお読み頂いているか、内容・レイアウト・文字の読みやすさに対してこのままで良いか、年3回の発行は適切か、などの様々な質問事項を考えています。

「10月14日をめどに調査方法、調査内容を完成させよう」と決まりました。調査実施の節はよろしくご協力をお願いいたします。

(石橋)

編集後記

みんラボ広報第8号が仕上がりました。皆様のお手元に届くのは秋風も立ち始めている頃でしょうか？編集会議は7〜8月の暑い時期に委員はハンカチ片手に頑張りました。

今回は何を記事にするか？という検討会に始まり、紙面の割り振り、執筆担当を決める。時に脱線しながらも8号ともなると皆さん要領を心得、進捗はスムーズに、時間も巧く使えて、良い紙面に仕上がったと自画自賛を少し…。次号へ宿題も残しながら今回の委員会を閉じました。次号もまた、一同力を合わせて頑張ります。

(柳井)

編集者紹介

【みんラボ会員】

根岸(編集長)、石津、石橋、今井、鶴川、落合、篠原、田内、柳井、吉村

【筑波大学大学院生】

田中、広瀬

【教員スタッフ】

原田、茂呂、葛岡、須藤

【みんラボ事務局】

萩野、栗延、宮代、宮入

四季報

が置いてあるところ

■市役所・官公庁

つくば市役所・関係部署
つくばみらい市役所
牛久市役所
土浦市役所
守谷市役所
取手市役所
竜ヶ崎市役所
阿見町役場

■筑波大学及び病院関係

筑波大学
筑波大学付属病院
筑波メディカルセンター病院
筑波記念病院
筑波学園病院

■市・公共団体

つくば市社会福祉協議会
つくば市シルバー人材センター
つくば市民大学
つくば市民活動センター
ふれあいサロン
阿見町中央公民館他
牛久市社会福祉協議会
牛久市シルバー人材センター
牛久市エスカードビル
牛久市生涯学習センター
牛久市ボランティアセンター
牛久市中央図書館

お問い合わせ

みんなの使いやすさラボ

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟A408)
TEL : 029-879-7351 (受付)月~金9時~17時
FAX : 029-879-7352 e-mail:mado@tsukaiyasusa.jp